

# ボランティア情報

No.276 (2021年10月1日発行)

【発行】

社会福祉法人福井市社会福祉協議会  
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6  
フェニックス・プラザ 1階  
電話 (0776) 22-0022 ファックス 26-9109  
ホームページ: <http://www.fukuic-shakyo.jp>  
Eメール: [mag@fukuic-shakyo.jp](mailto:mag@fukuic-shakyo.jp)



福井市社会福祉協議会

検索

この情報紙は共同募金の助成を受けて作製しています

## 「今、わたしたちにできること」

～みんなにやさしい町をめざして～

棗小学校4年生(11名)の総合的な学習の時間では、障がいのある方の思いや生き方にふれたり、擬似体験を通して福祉学習を進めています。

コロナ禍で感染拡大が続く中、学校と障がい当事者のゲスト講師(盲学校教諭)をオンラインでつなぎ、学びを深めました。子どもの表情や反応を見て、先生が説明を加えたり、相手に様子を伝えるなど気を配り、子どものペースに合わせた授業を進めました。今回は、取り組み内容と子どもたちの感想を特集します。

棗小4年生、  
盲学校と  
オンラインで交流

7月7日

### －見えにくい人や見えない人の暮らしについて－



▼ゲスト講師の  
岡島喜謙さん(右)と  
加地理沙さん(左)

子どもたちの  
感想

- 私よりも上手に包丁を使って料理をしたり、楽しく生活することができてびっくりに驚きました。
- 私は人見知りだから、人に話しかけることが苦手だけれど、「支え合い・助け合い」が大切と聞いたので、勇気をもって助けたいと思いました。



7月12日

### －こころのバリアフリーと ガイドヘルプ体験－

棗地区社協の方も協力



子どもたちの  
感想

- 声をかける時「大丈夫ですか？」では、相手も「大丈夫」と答えてしまうので、「何かお手伝いできることはありませんか？」と言おうと思います。
- 階段や坂は上りか、下りか、何段あるのか、なるべく具体的に伝えることが大切なのだと分かりました。

9月8日

### －盲学校児童と交流－

お互いの学校生活について紹介



子どもたちの  
感想

- 教科書は僕たちと同じ内容でも、拡大文字でページ数がたくさんあったので、驚きました。
- ポッチャなど、障がい者スポーツと一緒にやってみたいと思いました。

棗小 山下先生  
(4年生担任)  
からの一言



今回、子どもたちは相手の話を真剣に聞いていました。コロナ禍以前は、オンラインでの交流は不便に感じていましたが、子どもが「調べたい」と課題意識をもって交流することで、新たな気づきや学びが生まれました。

